

# 平成27年度

## 神楽公民館地域フォーラム開催結果

日時 平成27年10月15日(木) 14時～15時30分  
場所 神楽公民館 会議室  
参加者 市民11人, 神楽公民館長



### 1 公民館の事業及び利用状況について

神楽公民館長が、公民館の概要や事業実施状況、利用状況について説明しました。

### 2 意見交換(要約)

#### (1) 公民館の設備、利便性について

参加者：夏の冷房設備の計画はありますか。

公民館：一部の部屋に冷房設備がありますが、冷房の無い部屋につきましては残念ながら計画はありません。今までどおり扇風機で対応していただくこととなります。

参加者：チラシを置くスペースがいっぱいで見にくいので拡充できないでしょうか。

公民館：スペースに限りはありますが工夫しながら少しでも見やすくしたいと思います。

参加者：登録団体用の物置を使わせてほしいのですが常に満杯です。例えば半年交替とかは出来ないでしょうか。

公民館：現状では優先順位をつけて使用を許可しています。例えばバスで通っているお年寄りが重たい物を持ってくるとは困難なため優先順位が高くなります。従いまして交代制にしまうとサークル活動ができなくなるため、これは難しいと思います。物置を整理したり、他にスペースを見つけるなど、少しでも多くの登録団体が荷物を置けるように検討していきたいと思っております。

## (2) 公民館の利用者層

参加者：利用率が高く地域住民が部屋を取りにくいのですが、駐車場が広く中心部を結ぶ2本の橋の効果もあり、広域の施設として利用され満室になるのもやむを得ないと思います。また事業内容も十分だと思います。ただ外国は小さい頃から身近な施設として公民館に親しんでいるので各年代になっても公民館で何かしようということになるが、日本では若者が少ないと思います。

公民館：若者の利用者が少ない事は問題ととらえております。ただ登録団体の育児サークルが昨年二つ増えて賑やかになりました。今後はこの様な世代が自然と公民館に親しみながら成長してもらえれば若者にも身近な施設になることと思います。

参加者：神楽公民館ではないが、父親達が育児サークルを立ち上げたものの定期的な活動は難しいようで毎月は活動していません。やはり男性の社会参加はまだまだ進んでいないと思います。

それに若い人は付加価値が高くないと動かない。インターネット環境が整っていると、そこに行けば他の施設を利用できたり買い物ができる事が必要のようです。その点神楽公民館は素晴らしい立地条件と思います。

参加者：若者と男性が少ないとのことですが、部屋を借りて集まったり、登録サークルが沢山あるので、公民館ではこの様な事ができますよといった内容を、近隣の会社などに発信してはどうでしょうか。まずは公民館とはどんな所であるということをアピールしないとダメだと思います。

公民館：若者や男性のニーズを捕らえることは重要だと思いますし、近隣の施設などに発信することも重要だと感じております。

参加者：談話室などに本棚を置いて自由に読めるようにすれば色々な年代の人が気軽に訪れるのではないのでしょうか。他の施設でそのような所を見たことがあります。

公民館：ここは1階に図書館があるのと、談話室のスペースの関係から難しいと思います。

## (3) 公民館事業のPRについて

参加者：百寿大学の作品展示をセンターまつり、住民センター、地域の小学校などでしていますが、お客さんが身内ばかりで寂しいです。もっとPRして色々な人に見てもらい百寿大学に入ってもらおうきっかけになってほしいです。

参加者：毎年、文化会館で行っている全百寿交歓会を数年前に神楽公民館でやったことがあります。その時は関係者だけではなくかなりの人が訪れました。PRはさほどしていないのでやはり広くて無料の駐車場があるかどうかの違いが大きいと思います。

参加者：百寿大学の受付をしていると何をやる場所ですか？とよく聞かれます。

市民広報には受付日時しか掲載されないので、内容を伝える機会が少なすぎると思いました。

参加者：廊下にサークル活動写真を貼るところがあります。サークル活動をアピールする良い機会なので、みなさんもっと活用した方が良いと思います。

公民館：百寿大学や市民大学の活動内容PRとして、カリキュラム等を館内に掲示することも考えたいと思います。また先ほどご意見がありました。サークル活動の掲示コーナーをもっと活用していただきたいと思います。

#### (4) 地域の課題など

参加者：引きこもっていて町内会にも加入していない高齢者がいる。普通の町内会活動では情報提供もままならず民生委員が一件ずつ回るしかない。町内のイベントなどにも出てほしいのだが・・・

参加者：交流を持たない人を地域で見守るのは難しいですが、独居老人など災害時に支援を必要とする世帯が地域のどこに住んでいるかきちんと把握するようにしています。個人情報の問題はあるが神楽の各地域で取り組んでいます。

参加者：地域の民児協でも「住民支え合いマップ調査」が道民生児童委員連盟のモデル事業に指定されまして、今年度から作成に取り組んでいます。

参加者：地域の町内会館は、高齢で公民館に行くのがおっくうな人達が使用している。何か習ったり練習するというものではなく雑談に近い。引きこもっている人を引っ張り出す何か面白い企画ができればいいのですが。

公民館：公民館に集まりにくいなどといった場合には、こちらから地域に出向いていくことも可能です。

例えば町内会などでお年寄りを集めて演奏会を開きたい場合に、公民館が音楽系の登録団体と調整をして、町内会館などに派遣し演奏するといった協力の方法があります。神楽公民館には135の団体が登録してしまして、日頃から社会参加されている団体も多いので、町内などで何か企画される際にはぜひ声をかけていただきたいと思います。

貴重なご意見、ご提言をいただき、誠にありがとうございました。  
皆様のご意見等につきましては、神楽公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。  
今後とも、神楽公民館運営にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。